令和３年度　大分教育事務所　所長通信

2021「山ちゃん通信」No,204

2021, 11, 29

文責：山香 昭

私は生徒を見ている。それ以上に生徒達は私を見ている。とても純粋な目で！

飛込授業第14弾

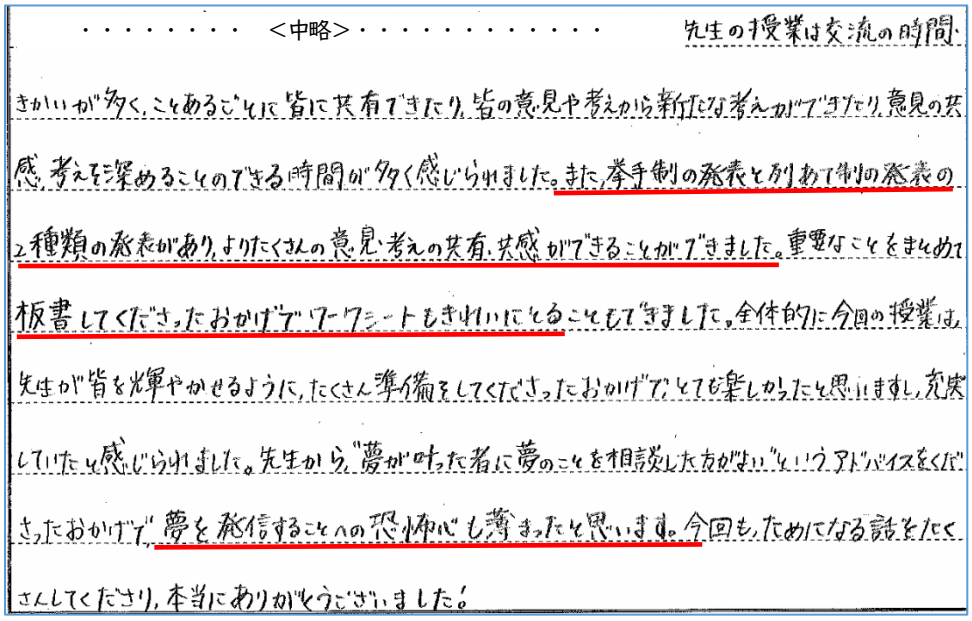
大分大学教育学部附属中学校

2年D組と学ぶ

NO,657　2021年11月　大分大学附属中学校

学びは楽しい

みんなと共に課題を解決しようとすると、自然に笑顔があふれてくる。



・・・・・・・・・・　＜中略＞・・・・・・・・・・・・・　先生の授業は交流の時間

きかいが多く、こそあるごとに皆に共有できたり、皆の意見や考えから新たな考えがでてきたり、意見の共感、考えを深めることのできる時間が多く感じられました。また、挙手制の発表と別あて制の発表の2種類の発表があり、よりたくさんの意見、考えの共有、共感ができることができました。重要なことをまとめて板書してくださったおかげでワークシートもきれいにとることもできました。全体的に今回の授業は、先生が皆を輝やかせるように、たくさん準備をしてくださったおかげでとても楽しかったと思いますし、充実していたと感じられました。先生から、"夢が叶った者に夢のことを相談した方がよい"という アドバイスをくださったおかげで、夢を発信することへの恐怖心も薄まったと思います。今回もためになる話をたくさんしてくださり、本当にありがとうございました！

授業後に、２学年の生徒さんからお礼状を頂きました。A４紙いっぱいに書かれた内容は、自分が学んだことやこれから努力したいことに加え、友達の良さや学級全体の成長の様子が書かれていました。何よりも語彙力の高さを感じました。

特に驚いたことは、多くの生徒は、授業を行った私の言動についても書かれていました。さらに、交流や指名、指示を出した意図等を的確に分析したものもあり、所内でも話題となりました（指導主事レベルです）。確かに生徒達は、本時の「ねらい」を探りながら課題を引き受け、その解決を共同して解決していました。

それは、私の力ではなく、日頃から生徒と共に創る授業を実践されているからだと思いました。改めて、生徒から頂いたお礼状を読み直しながら、授業の本質に迫りたいと決意しました。

大分大学附属中２年生の皆さん、そして先生方に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

NO,658　2021年11月　大分大学附属中学校

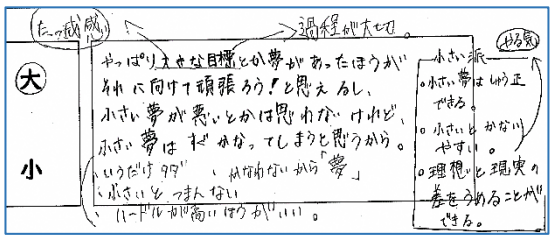
視線が揃う

それぞれが、相手の考えから学ぼうとすると、自然に視線が揃ってくる。

NO,659　2021年11月　大分大学附属中学校

意欲的交流

意見交換レベルではない、意欲的に学び合う交流はスピードも内容もハイレベルだ！



（たっ成感）　過程が大切。

大　やっぱりえらい目標とか夢があったほうが それに向けて頑張ろう！と思えるし、小さい夢が悪いとかは思わないけれど、小さい夢はすぐかなってしまうと思うから。いうだけタダ、叶わないから「夢」小さいをつまんない、ハードルが高いほうがいい。

小

わる気

小さい夢

・小さい夢は叶う正できる。
・小さいとかないやすい。
・理想と現実の差をうめることができる。

先生がおっしゃっていた、友人の「まだ夢で決めていなくてもいい」という言葉に、私はすごく救われた気がします。夢が定まっていない私は、「他人に遅れをとっているのだろうか」と少し思っていたので、対話の前の事も一生懸命なことが最善といって下さり、私がそれらに安堵したいと感じました。他にも山香先生から

自分で勇気を出して一歩踏み出して、夢にも思わない世界をみてみたいと思いました。私はまだ自分の周りの世界しか知りません。なのでもっと世界を広げたいです。もっと夢にも思わない世界をひろげたいです。ありがとうございました。

私が考える夢に近づくために必要なものは、「努力」「感謝」「自信」です。こつこつと努力し、その裏で支えてくれる人への感謝を忘れず、努力が自信へと繋がって、1つの夢を叶えられるのではないかと思いました。他にも、山香先生の意見である、「共有する」などもこれから先に活用できるなと感じました。将来について考え直せて嬉しかったです。